

●特集 持続可能な社会の実現を目指す 組織間連携と協同



2018年2月9日、生協産直の歴史ある鳥取市国府町の美歎牧場内の「みんなの牧場」の竣工式には、出資した鳥取県生協とコープしがの代表者も出席した。

日本の協同組合は、
所管省庁や根拠となる法律が異なり、
事業運営に関する制約が少なくありません。
このため、安心して暮らし続けられる
地域社会づくりには生協だけではなく、
複数の組織が連携して取り組むことが
求められています。



〈主な連載〉
巻頭インタビュー
●わが生協、かくありがたい！
こうち生協
代表理事 理事長 西岡雅行氏

●店舗連載

これからの店舗事業の
あり方を考える

第14回 コープさっぽろ

地域から頼りにされる店舗事業を支えるのは
経営再建以来積み上げてきたMDと運営力

●宅配連載

全国生協の宅配事業・
宅配センター運営を学ぶ

第26回 コープきんき事業連合

便利なカタログ本誌と、ファンを生むサブカタログ
の併用でさらなるお役立ちを目指すコープきんき

注目 記事！

●特別企画

持続可能な地域社会づくり

福井県民生協が
37年ぶりの大雪から学んだこと
2018年2月の雪害対応の経過と
今後の課題



2018年2月に北陸地方を襲った大雪により、福井県民生協は約1週間全エリアの配達中止に追い込まれたほか、介護や配食など多くの事業で影響を被った。



生協運営資料

No.302

2018.7

B5判

奇数月10日発行

定価 870円・年間 5,220円

次号「特集」予告

●これからの店舗事業の役割と可能性を考える(仮)

生協の店舗は、持つこと自体が目標だった時期や、生き残りをかけた競争を経験し、現在は事業の複合拠点や交流の場としての活用も進んでいます。これからの店舗はどのような役割が期待され、どのような課題があるのか、さまざまな事例と共に報告します。

購読のお申し込みは、所属生協担当窓口まで

日本生協連 広報部 出版G Tel 03-5778-8183